

国別援助方針へのご意見募集結果
 (ご意見の概要と外務省からの回答)

意見概要	回答
<p>(ニジェール共和国)</p> <p>1. 貧困の背景, 要因を明らかにするとともに, その一要因と考えられる水, 保健・衛生分野等基礎的社会サービス分野を援助の目標とするべき。</p> <p>2. 信頼される基礎的社会サービスを構築するには人が必要である。</p>	<p>ニジェールの貧困の背景, 要因としては, 様々な点が考えられます。その中でも我が国の援助方針を策定するにあたっては, 同国政府が掲げる戦略・計画との整合性, 他ドナーの活動分野, 同国における我が国支援実績や今後概ね5年間の見通し・優先度等を踏まえる必要があると考えています。その上で, 厳しい自然環境, 気候変動の影響, サヘル地域全体における政情不安, 生計向上手段の欠如等貧困の背景, 要因となる同国を取り巻く困難と, それに基づく我が国支援の大きな方針について, 簡潔に記載したものが当該援助方針です。</p> <p>なお, MDGs (ポスト MDGs 含む) 及び TICADV で表明した支援策の目標達成の観点等にも鑑み, 我が国として, 水, 保健・衛生分野等基礎的社会サービスに係る支援も引き続き重要であると考えており, 援助の基本方針(大目標)において, 「ニジェール国民の食糧安全保障と基礎的社会サービスの拡充に貢献する支援を実施する」旨, 記載しています。</p> <p>御意見は, 弊省, JICA本部, 大使館, JICAニジェール支所にて共有し, 今後の案件形成の参考とさせていただきます。</p> <p>基礎的社会サービス分野に限らず, 貧困削減や社会経済開発に資する持続的な社会システムの構築において人材育成が不可欠です。同国に対しても, 従前より, 現地における技術協力や本邦での研修, 国際機関を通じた支援により人材育成に貢献してきたところであり, 今後も継続して取り組んで参ります。</p>

<p>3. 青年海外協力隊に係る事業について記載すべき。</p> <p>4. 人間開発指数に係る最新のデータを引用すべき。</p>	<p>過去において、教育分野等を中心に青年海外協力隊が派遣され、対ニジェール支援の基盤の構築に大きく寄与したものと認識しています。過去の知見や経験を踏まえ、今後、協力隊派遣の可能性が出てきた時点で、改訂プロセスにおいて検討していきたいと考えています。</p> <p>ご指摘を踏まえ、最新のデータを記載することとします。</p>
---	---